

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	星とたんぼいっぽずつ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	R8.1.28	～	R8.2.28
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	R8.1.28	～	R8.2.7
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	R8.3.6		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人1人をアセスメントして、一人一人に合った個別支援計画を作成し支援をしているところ	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達への観察評価を行い、担当だけでなく職員数人で見ていく 子どもの行動から原因を探り、その原因の改善に務める 	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントシートを活用しながら、今までと同じように観察評価、分析をする 個々の実態、家族の思いなど、一人ひとりに合わせた支援を続けていく
2	担当制だが、チームで考えているところ	<ul style="list-style-type: none"> 毎日、朝礼や反省会を行う 担当制だが一人でこなすのではなく、いろいろな支援者が支援をして思ったことなどを話し合う 問題行動があった時は、みんなで原因を探っていく 	<ul style="list-style-type: none"> チームで考える時間の確保をしていく 子ども達、一人一人のことをみんなで考える、関わる環境を整える
3	専門の先生が入られてのコンサルテーションや研修会、勉強会で学べるところ	<ul style="list-style-type: none"> 事業所で話し合い、実践していきながらもわからないことや、専門の先生にアドバイスをいただきたいことを、コンサルテーションで勉強する。他の支援者へのアドバイスを自分の担当の子ども達に置き換えて話を聞きながら、わからないことは直接質問をして、アドバイスをいただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで考えて取り組み解決すること、専門の先生にアドバイスをいただくことを見極めていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事務や課題作成する時間の確保	<ul style="list-style-type: none"> 細かく支援計画を立てていくにあたり、観察や評価をして支援者会議をする、そして作成していく。また日々の課題取り組みシートへの記入や次回の課題を考えての教材作りをすることは時間がかかってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援者の勤務時間もあるが、時間の確保は出来るだけ充実していきたいと思っている 支援者の配置人数を考えていきたい
2	報連相の充実	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼や会議、反省の他、大切なことや忘れがちなことは文字にして共有できる場所に貼っているが、伝わりにくいことがある。 子どもの支援より事務連絡になっている。 半日勤務の職員が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議の在り方についてを考えていく 事務連絡にならないようにする 声をかけ合っていく
3	職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> 教え方、学び方で違い 受動的である。 風通しの良い職場に…を心掛けているが、出来ていないところもあるのかと思う 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達と同じように、職員に合わせた指導の大切さを感じるので、一人一人の理解の仕方に応じて教えていく。 「わからないこと」「できないこと」を自ら言えるような雰囲気作りを心がける